

## 第6学年 情報モラル学習指導案

### 1. 単元名「インターネットから自分を守るう」(総合, 道徳)

#### 2. 指導観

本学年の児童は、事前のインターネットに関する調査によると、約80%の児童が家庭でインターネットを利用しており、そのうちの14%がほぼ毎日、一週間以内では約70%の児童が一度は利用している状況である。主な利用目的については、50%の児童が「いろいろなページを見たり、調べたりする。」と回答している。これらのことから、本学年の多くの児童が、インターネットをほぼ日常的に利用し、さらに、インターネット上のあるあふれるほどのホームページから発信される情報に目を通していているということが言える。

また、情報機器(パソコン及び携帯電話)の使用に関し、「気をつけることを言われたり、実際に注意された経験」については、53%の児童が「ある」と回答している。その内容には「アダルトサイトにページがとんだ」「ゲームをしていて、お金がかかって親からしかられた」という、不意に悪意のあるホームページにアクセスしてしまった事例も起き、これからも似たような事例が起こらないとは限らない状況である。

本単元は、情報モラル指導カリキュラム(試案)にそって設定した情報モラル学習指導単元である。ここでは、インターネットのホームページから必要な情報を収集し問題解決に役立ててきた経験を踏まえ、悪意のあるサイトから自分を守るためにどうすればいいかについて考え、実際にそれを行動化できるようにしていくことを主なねらいとしている。また、学習を通して情報モラルの正しい知識を獲得させるだけでなく、インターネット上の情報やそれに対処するための見方・考え方を養っていくことも重要なねらいである。このことは、児童が自らが日頃から情報モラルを身につけ、望ましい態度で情報社会を生きていくことにつなげていくということからも大変意義深いと考える。

本単元の指導にあたっては、教科横断的な指導の枠組みの場を設定し、悪意のあるホームページから自分を守るための疑似体験活動や児童の話し合い活動を取り入れながら、情報モラル指導カリキュラムで設定した育成のねらいを達成できるようにしたい。

そのために、まず、総合的な学習の時間において、悪意のあるホームページをネット教材を用いて疑似体験する場を設定する。具体的には、詐欺や出会い系、そして不確かな情報のページ、さらには、音楽のダウンロードやオンラインショッピングの閲覧を通して、悪意のあるホームページの実態や、それぞれがどのような被害をもたらすかを知識として獲得できるようにする。

次に、道徳の時間において、悪意のあるホームページから自分を守るための心構えを考える場を設定する。具体的には、教師の自作の読み物資料をもとに、「自分で守れる」「自分では守れない」の両方の立場に分かれ、その理由を話し合わせる。そして、その話し合いもとに、自分を守るためにどんなことに気をつけたらいいかを前時の疑似体験活動とつなげてまとめていく。

さらに、本単元学習を別の情報モラル学習単元と関連させて行うことで、学習内容をより効果的に身につけるようにしていきたい。

#### 3. 単元の目標

悪意のあるサイト(出会い系, 詐欺まがい等)へのアクセスは危険性をはらんでいることを知る。  
(正しい知識)

楽曲をダウンロードで購入したり、ネットオークション等で買い物をしたりする場合のルールや注意することが分かる。  
(正しい知識)

ネット被害から守るための方法や心構えを考えることができる。

(見方・考え方)

#### 4. 単元の計画（全2時間）

配時	中心となる学習活動	教科・領域
1	ネット教材を用いてサイトの疑似体験をする。 ・詐欺及び出会い系サイトの疑似体験をする。 ・楽曲のダウンロードやネットオークションで買い物をする場合の注意点について話し合う。	総合
1	インターネットの危険から自分を守ることにについて話し合う。 ・読み物資料や前時での学習をもとに、悪意のあるホームページの被害にあわないための方法や心構えを考える。	道徳

#### 5. 情報モラル指導カリキュラムでの本単元の位置付け

別紙資料を参照

#### 6. 教科及び領域との関連

本情報モラル学習指導単元は、総合的な学習と道徳の学習で行うが、それぞれの本単元との関連は以下のように考える。

##### (1) 総合的な学習の時間との関連

総合的な学習の時間の目標は各学校独自で設定されているため、本単元学習の実施校の今年度の目標との関連で考える。本単元は、総合的な学習の時間の目標(高学年) - 平成20年度の「関心・意欲・態度」の項目の と関連する(下表参照)

【総合的な学習の時間の目標(高学年) - 平成20年度】

関心・意欲・態度	自分から課題を見つけたりつくったりしようすることができる。 自分から進んで、ねばり強く、継続的に取り組むことができる。 学習したことを日常生活に生かしていこうとすることができる。
思考・判断	課題解決の見通しをもって計画を立てることができる。 自分なりの方法を考えて課題解決に取り組むことができる。 自分が立てた計画に沿って課題を追究することができる。
技能・表現	情報の集め方や調べ方等、目的に応じて工夫することができる。 調べたことを発表の形態に応じて分かりやすくまとめることができる。 相手や場に応じて報告や発表の仕方を工夫することができる。

##### (2) 道徳との関連

本単元は、学習指導要領第3章「道徳」の第5学年及び第6学年の内容「公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす」(4 - 2)と主に関連する。しかし、「生活を振り返り節度を守り、節制に心がける」(1 - 1)の内容にもつながる部分をもって、そのことを念頭において指導する。(道徳の内容については、学習指導要領を参照。)

7. 学習の展開

第1時 日時と場所：平成20年 9月24日（水）第2校時 パソコンルーム  
 準 備：（教師）ネット教材，学習プリント （児童）筆記用具

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点と主な支援
<p>1. 前時を振り返り，本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">悪意のあるホームページにはどんなものがあるかを知ろう。</p> </div> <p>2. 「悪意のあるホームページ」について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お金をだましよつなとるページ</li> <li>・ 普通に検索していたら，変なページへとぶページ</li> <li>・ 個人情報盗み取るページ</li> </ul> <p>3. ネット教材で疑似体験をする。</p> <p>(1) 詐欺のページの疑似体験</p> <p>(2) 出会い系のページの疑似体験</p> <p>(3) 不確かな情報のページの疑似体験</p> <p>4. 音楽をダウンロードしたり、ネットオークションで買い物したりする場合の注意点を知る。</p> <p>5. 本時学習をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>詐欺(さぎ)のページ ...お金をだまし取られる</p> <p>出会い系のページ ...犯罪に巻きこまれる</p> <p>不注意なダウンロード...コンピュータウィルスに感染する</p> <p>不確かな情報のページ...自分が犯罪者になる場合がある</p> <p>音楽のダウンロードや...個人情報が流出する</p> <p>ネットでの買い物</p> </div> <p>6. 「今日の学習で」を書き，自己評価をする。</p>	<p>ホームページを作成するに先だつて，ホームページを閲覧する場合の注意点について情報モラル育成の観点から今一度学習していくことを説明する。</p> <p>「悪意のあるホームページ」については，教師から説明するのではなく，児童のもつイメージや実体験をもとにしながらどのような種類のページがあるかを挙げていくようにする。</p> <p>疑似体験ではネット教材を用いる。URL入力が省けるように教師側でページを保存し，そこからアクセスさせる。疑似体験は教師の指示に従つて進めるよう指示する。</p> <p>オンラインショッピングに関しては，児童には経験がほとんど無いと思われるので、悪意のある不正サイトもあることを教師側で提示する。音楽のダウンロードを経験している児童がいれば、実際に気をつけていることを発表させたい。</p> <p>自己評価については，情報モラル育成の視点に沿つて行わせる。</p>

第2時 日時と場所：平成20年 9月24日（水）第3校時 第6学年1組教室  
 準 備：（教師）学習プリント，プロジェクター，スクリーン，前時学習資料，  
 読み物資料「悪いホームページに出会って」（自作資料）  
 （児童）筆記用具

学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点と主な支援
<p>1．前時を振り返り，本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p>悪意のあるホームページから自分を守るためには          どんなことに気をつけたらいいか考えよう。</p> </div> <p>2．読み物「悪いホームページに出会って」を          読んで話し合う。          ・ぼくも浩介の気持ち分かる。自分もだまされ          てしまうかもしれない。          ・真一はだまされない自信があるみたいだけ          いろいろなところをやたらとクリックしない          ようにすれば大丈夫だよ。          ・「おかしい」と思ったら家の人に相談すると被          害に遭わないと思うよ。</p> <p>3．悪意のあるページから自分や身近な人を守る          方法について考え，意見を交換する。</p> <p>4．話し合ったことを出し合いながら，本時学習を          まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いろいろなところをやたらとクリックしない。          よく確かめてページを表示させるようにする。          ダウンロードやショッピングは家の人と一緒          にする。          不審に思ったら，ページを消したり家族に          相談する。</p> </div> <p>5．「今日の学習で」を書き，自己評価する。</p>	<p>悪意のあるホームページにはどんなものがあるかを知った児童たちに対し、「では、いったいどうすれば自分を守れるのか」と問いかけ，本時のめあてを設定していきたい。</p> <p>浩介と真一のやりとりから，共感できるところについて話し合う場を設定する。その際には共感する理由も発表させる。</p> <p>話し合いは，学習プリントに自分の意見を書き込んだ後に，浩介と真一の立場に分かれて，少人数グループで行うようにする。</p> <p>まとめについては，児童の発言をもとに，前時の学習内容と合わせて板書していく。</p> <p>自己評価については，道徳と情報モラル育成の2つの視点に沿って行うようにする。</p>

(資料)

## 「悪いホームページに出会って」

浩介と真一は、6年3組のクラスメートで、家も近く、大の仲良しである。2人とも大のパソコン好きで、家で時間があるときは、いつもインターネットを利用して、その日の勉強でわからなかったことや自分が知りたいことなどを検索して調べている。

ある日の休み時間、浩介が元気がなさそうな顔をして、真一に話しかけてきた。

「真一、昨日のことなんだけどさぁ・・・。」

「どうしたんだ、浩介。」

真一は事情は分からなかったが、何かあったにちがいないと思い、少し心配になったので話を聞いてみることにした。

「実は昨日、インターネットのホームページで歴史のことを調べていたんだ。リンクしているところをどんどんクリックして先に進んでいたら、とつぜん、わけのわからないページにとんだんだよ。」

「どんなページに？」

「くわしくはもう覚えていない。でも、知らないキャラクターがたくさんあって、何か新しいゲームの紹介みたいなページで『今なら無料お試し』とか、『もっと くわしく知りたい人はここをクリック！』とか書いてあったんだ。」

「それで、その後どうした？」

「おもしろそうだと思って、クリックしてリンクしているページに進んだんだ。すると、ゲームの説明のようなページが出てきて、今度は『ゲームを始めたい人はここをクリック！』というが下の方にあったから、してみようかなと思ってクリックしたよ。」

「ゲームはおもしろかったかい？」

「ううん、おもしろかったどころか、とんでもないメッセージが出てきたよ。」

「ええっ、どんなメッセージ？」

「『あなたのパソコンは登録されました。近いうちにメールが届きます。』って。何か急にこわくなって・・・。すぐそのページは消したけど・・・。」

「悪いホームページにひっかかってしまったんだな、おまえ・・・。」

真一は同情するような声で言いました。

浩介と真一はしばらくだまっていたましたが、しばらくして、浩介が次の言葉を切り出しました。

「おれ、悪いホームページに出会った時、また、だまされてしまうんじゃないかと思う。」

真一はその言葉を聞くと、浩介に向かって言いました。

「おれは、そんなページに出会っても大じょうぶだよ。きっとだまされないと思う。」

浩介は、真一の自信満々な言葉を聞いて、こう反論しました。

「おれは、だまされたくてだまされたんじゃないよ。うまい具合にできたんだ・・・。」

でも、人をだますようなホームページはインターネットにたくさんあると思うよ。」

真一は、納得しない様子で、

「そうかなぁ・・・。でも、大じょうぶ。」

と心の中でつぶやきました。

本時は縦書きの形式で使用